

小野市議会だより

Ono city assembly



第372回 3月定例会

一般質問

- | | |
|-----------|------------|
| ふじ わら たけし | よし だ しげ ひろ |
| ・ 藤原 健 | ・ 吉田 成宏 |
| たけ うち おさむ | やま なか おさ み |
| ・ 竹内 修 | ・ 山中 修己 |
| まつ い まさ し | すす がき はじめ |
| ・ 松井 精史 | ・ 鈴木 元 |
| ふじ い たま お | いの うえ ひ よし |
| ・ 藤井 玉夫 | ・ 井上 日吉 |

議案質疑

- | | |
|-------------|------------|
| まつ もと あさ のり | かわ な よし ぞう |
| ・ 松本 哲昇 | ・ 川名 善三 |

議会傍聴

3月定例会 71人
〔22年度累計 220人〕

菜の花ロマン回廊

色鮮やかに咲いた菜の花が

ひと・まちを元気に!!

葉多駅周辺で「菜の花イベント」が開催されました。

3月定例会終わる

こんなことが決まりました	2～4
一般質問・質疑発言者	5
一般質問・質疑について	6～10
議会の取り組み等	11
常任委員会審査報告	12～13
議会運営委員会報告	13
予算特別委員会意見	14～15
議会の動き	16

3月
定例会

こんなことが決まりました。

3月定例会は、2月25日から3月24日まで28日間開催しました。平成23年度当初予算をはじめ、平成22年度の補正予算や条例制定などを含む議案34件を原案のとおり可決・同意するとともに、議員辞職を1件許可しました。また、請願2件を採決しました。

一部改正された条例

小野市の組織及びその事務分掌に関する条例の一部を改正する条例の制定について

秘書が所掌している多様な機能、情報等を最大限活用し、全市的な事業調整や計画策定、重要プロジェクト等を円滑に推進するため、総合政策部に秘書を編入する。

小野市学習等共用施設（コミュニケーション共用施設）の設置及び管理運営

に関する条例の一部を改正する条例の制定について

指定管理者として地元自治会が無償で管理運営してきた住吉会館について、地元の要望に基づき無償譲渡するにあたり、条例に定める施設から削除するため。

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国家公務員の給与改定に準じて、時間外勤務が60時間を超えた場合の割り増し支給にかかる60時間の算定

対象に日曜日等を加え、また、県の改定に準じた義務教育等教員特別手当の支給額の変更に伴い、支給上限額を12,000円から8,200円に引き下げる。

小野市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

地方公務員の育児休業法の改正を受け、国に準じて一定の嘱託職員及び非常勤職員が育児休業、看護休暇等を取得できるよう改正する。

小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

出産育児一時金を平成21年10月から暫定的に35万円から39万円に引き上げ、附則で規定していたが、恒久化される政令施行により本文規定を39万円に改正する。（産科医療補償制度加入機関42万円）

小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

（反対討論あり）
国民健康保険事業の収支の均衡を図り、安定した事業運営を行うため、

小野市国民健康保険運営協議会の答申を受け、基礎課税額等の引き上げを行う。基礎課税分、後期支援分、介護分を合わせ、一世帯当たり年額約21,000円、全体で8,500万円程度の引き上げとなる。

小野市敬老金支給条例の一部を改正する条例の制定について

敬老金を長寿祝に改め、現行の75歳以上に一人5,000円の支給から、記念年齢到達者への支給に変更する。(喜寿1万円・米寿2万円・白寿3万円・100歳到達者5万円・101歳以上1万円)

小野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

北播磨総合医療センターの建設に伴い、その建設予定地において、新たに「市場町南山地区地区整備計画区域」を定めたことにより、関係規定に同区域を追加する。

小野市上水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

収支計画の見直し、県水の受水単

価の引き下げ等により、より低廉な価格での水道水の供給を行うための水道料金の引き下げ等(平成23年10月1日使用分から)標準家庭で一ヶ月当たり2,782円から2,625円(△157円)の料金減額。年間ベースで約6,700万円の減収となる。

小野市下水道条例及び小野市農業集落等排水処理施設管理条例の一部を改正する条例の制定について

下水道事業会計の経営改善に向けた下水道使用料及び、農業集落等排水処理施設使用料の引き上げ等。(平成23年10月1日使用分から)標準家庭で一ヶ月当たり1,732円から2,310円(+578円)の料金増額。年間ベースで2億1千万円の増収を見込む。

廃止された条例

小野市老人保健特別会計条例を廃止する条例の制定について

老人保健制度が平成19年度末で廃止され、当該特別会計の設置義務が

本年度末で終了するため、同特別会計を廃止、平成23年度以降、医療費の過誤調整に伴う収支は一般会計で処理する。

小野市立老人福祉センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について

福祉総合支援センターの整備に伴い、老人福祉センターを廃止する。

主な議案

兵庫県市町村職員退職手当組合理約の変更について

西脇市、加西市、加東市及び多可町の消防事務等の共同処理を行う「北はりま消防組合」が、平成23年4月1日付で退職手当組合へ加入することに伴う組合理約の改正。加入後は、19市12町28一部事務組合となる。

播磨内陸医務事業組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について

新たに組合施行の修学資金貸与制度を開始するため、共同処理する事

務に当該事務を追加し、これに伴う組合理約を変更する。

小野市基本構想を定めることについて

地方自治法第2条第4項の規定に基づき、2011年から2020年までの10年間の小野市基本構想(基本理念、まちづくり方針、将来像及び施策大綱、まちづくり指標、行動指針)を定める。

市有財産の無償譲渡について

小野市学習等供用施設「住吉会館」を地元自治会への無償譲渡する。(時期 平成23年4月1日)

小野市学習等供用施設(コミュニティ供用施設)の管理に係る指定管理者の指定について

復井会館ほか河合地区のコミュニティ供用施設及び黍田地区多目的研修会施設について、平成18年4月から5年間の指定管理者の指定期間が本年3月に満了するため、平成28年3月までの5年間、それぞれの自治会を引き続き指定管理者に指定する。

小野市公平委員会委員の選任について

松永美由紀委員の任期が平成23年3月25日で満了するため、その後任として同委員を再任する。

小野市教育委員会委員の任命について

陰山 茂委員の任期が平成23年3月31日で満了するため、その後任として同委員を再任する。

議員辞職について

平成23年3月9日をもって、河島信行議員が議員を辞職することを許可しました。

請願関係

「他学区との統合などにより、北播磨の通学区をこれ以上広げないことを求める意見書の提出を求める請願」

12月定例会で閉会中の継続審査となり、総務文教常任委員会で参考人の出席を求め慎重審議を行い、3月定例会で採決の結果、不採択となり

ました。(賛成討論あり)

「国道175号の管理は国の責任で行うこと」の意見書の提出を求める請願書」

採決の結果、不採択となりました。(賛成討論あり)

補正予算関係議案

今回の補正は、収支不足が見込まれる国民健康保険特別会計への法定外(赤字補てん)等の繰出金、学校給食米飯用保温コンテナ一斉更新、今後も継続する学校整備などに備えるため公共施設整備基金の積立金などの経費を計上するとともに、人事院勧告に伴う人件費、各事業の決算見込みによる減額などの補正を行うとするものです。

平成22年度小野市一般会計補正予算(第6号・第7号)

補正額 81,700千円 追加
総額 19,260,000千円

平成22年度小野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

補正額 1,000千円 追加
総額 5,457,848千円

平成22年度小野市老人保健特別会計補正予算(第2号) 平成22年度小野市水道事業会計補正予算(第2号)

補正額 800千円 追加 資本的支出 35,000千円 減額
総額 6,330千円 平成22年度小野市下水道事業会計補正

予算(第1号) 正予算(第1号)

収益的支出 8,500千円 追加 収益的支出 40,000千円 減額
資本的支出 2,800千円 追加 資本的支出 25,000千円 減額

平成23年度当初予算関係

安全・安心に暮らせるまちづくり、子育て支援や教育環境の充実、そして市民力による地域の活性化、都市基盤の整備に重点を置いた、平成23年度当初予算の議案が上程され、予算特別委員会付託審査の結果、可決されました。(小野市国民健康保険特別会計予算について、反対討論あり)

平成23年度会計別予算総額 (単位:千円)

会計別	平成23年度	
一般会計	19,320,000	
特別会計	国民健康保険	5,676,000
	老人保健	0
	介護保険	3,007,000
	後期高齢者医療	395,000
	小計	9,078,000
企業会計	都市開発事業	150,100
	病院事業	4,608,000
	水道事業	2,180,000
	下水道事業	3,160,000
	小計	10,098,100
合計	38,496,100	

※予算特別委員会で、議員から出された多くの意見や指摘・要望等は、14ページに詳しく掲載しています。



東条川親水公園竣工記念
「やすらぎの景観コンサート」開催風景

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

平成23年 3月定例会

市議会HP内の「市議会ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧いただけます。

HPアドレス:<http://www.city.ono.hyogo.jp/~gikai/>

一般質問発言者

藤原 健 議員

- ・小野市の農業労働力と圃場整備の将来見通しについて
- ・旧KDDI用地の利用計画について
- ・小野東小学校の改築計画について
- ・給食無料化について

吉田成宏 議員

- ・口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの防疫体制について
- ・戸別所得補償モデル事業について
- ・農地・水・環境保全向上対策の評価について
- ・TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）に対する自治体としてのスタンスについて

竹内 修 議員

- ・地上デジタル放送推進総合対策について
- ・らんらんバスについて
- ・小野市の文化・芸術の推進について

山中修己 議員

- ・人事管理制度について
- ・神戸電鉄粟生線について

松井精史 議員

- ・市長の所信表明について
- ・地域活動の活性化について

鈴垣 元 議員

- ・「TPP参加」による影響について
- ・道路整備について
- ・「文化活動の盛んな小野市」への課題について
- ・市長所信表明について

藤井玉夫 議員

- ・審議会等の会議の公開について
- ・広域消防体制について
- ・ホテル誘致について
- ・ボランティア活動支援について

井上日吉 議員

- ・今後のまちづくりについて
- ・市道107号線等の改修について
- ・市道5026号線の景観整備について
- ・各小学校、特別支援学校及び幼稚園の人的警備について

- ・適応教室の教育環境の整備について
- ・らんらんバスの乗車率向上について
- ・セレモニーホールの建設について

質疑発言者

松本哲昇 議員

- ・議案第3号
平成23年度小野市一般会計予算について
- ・議案第9号
平成23年度小野市水道事業会計予算について
- ・議案第23号
小野市敬老金支給条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第24号
小野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第25号
小野市水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

川名善三 議員

- ・議案第3号
平成23年度小野市一般会計予算について
- ・議案第22号
小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について



研政クラブ
藤原 健 議員

旧KDDI用地の利用計画について

質問 平成21年に取得した旧KDDI用地内の、産業用地と住宅用地の開発に関する進捗状況と利用計画はどうなっているか。

答弁 産業用地（県道東側）の粗造成は終了し、企業誘致のための販売促進に努めています。しかしながら、景気回復の状況は厳しく、企業の設備投資意欲の衰退などで、需要（売れ行き）は低迷しております。また販売の障害となっていたNTTドコモの鉄塔は、平成23年度に撤去します。

住宅用地は、地縁者（小野東小学校区のうちの市街化調整区域か、浄谷町に隣接する自治会に10年以上住んだことがある人）住宅用地です。開発は、地元説明会を開催するなど協議・調整を行い、地域と連携しながら取り組んでいます。このたび、

関係者の意思が反映された造成計画に基づき、3月7日に工事を発注し、9月末の完成を予定しています。分譲は、工事の進捗状況を見ながら、できる限り早い時期に開始したいと考えております。
（市当局）

小野東小学校の改築計画について

質問 小野東小学校の改築計画はどうなっているか。

答弁 現在の学校は昭和50年に建設した建物ですが、老朽化が著しいため建物の耐力度調査を行い、安全安心な学校づくり交付金事業の危険建物の改築事業に乗せて、改築したいと考えています。平成23年度に地域の代表者・PTA代表者・学識経験者等を構成員とした「改築検討委員会」で基本計画を策定し、平成25年～26年で校舎を、平成27年に体育館を改築します。
（市当局）



清風クラブ
吉田 成宏 議員

TPP参加への自治体としてのスタンスについて

質問 菅総理は、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加は、6月を目途に判断する方針と聞く。TPPの議論は急速に高まっているが、農業はもちろん日本の経済社会に重大な影響を及ぼすとみられる。地方議会の多くは、反対或いは慎重であるべきとの意見であるが、市当局のスタンスを問う。

答弁 TPP参加へのスタンスを問われると、「非常に難しい」と言わざるを得ない。とりわけ農業への影響は厳しいが、農業が衰退するということは、文化や環境への影響も懸念される。負けない農業を作る必要がある。現在、TPP参加への議論は二分している。兵庫県もTPPの動向を見据え、平成23～27年の中期行動計画「アクションプログラム」中の農林水産ビジョンの修正を遅らせ

たい方向であると聞いている。市としては、国・県の農業施策を注視しながら方針を立てていきたい。
（市当局）

農地・水・環境保全向上対策について

質問 事業の評価と支援について問う。

答弁 地域住民総参加による農業用施設（道路や水路）の保全管理や環境に優しい農業の推進、住民意識の変化や地域行事への参加率の向上など地域コミュニティの活性化に効果があったと評価している。今後とも、農家・非農家が一体となって取り組まれている農村環境保全の活動や次世代の後継者育成を支援したい。23年度からは農地・水・保全管理支交代付金制度が創設予定だが、この制度により、多額の費用を要する農業用施設の修繕・更新に取り組める。市では、この新制度に期待し大いに活用したい。
（市当局）



公明党
竹内 修議員

地上デジタル放送難視聴地域対策について

質問 市内のデジタル放送が受信しにくい地域が残っていますが、どう対策されますか。

答弁 国と歩調を合わせ、地デジ完全移行を目指して取り組んでいます。現在、地デジ受信の市内難視聴地域は、池田町小野平の一部に残っています。近畿総合通信局やデジサポ等と協議を行い、また、アンケート調査結果を踏まえ、官民協調して、対応を図っていきます。(市当局)

らんらんバスについて

質問 北播磨総合医療センター建設計画に伴う、らんらんバスによる通院の足を確保する運行計画を問う。

答弁 北播磨総合医療センター予定地には、近接した公共交通機関がありません。らんらんバスは、移動手

段として重要な役割を担うと考えます。

鉄道、バス、タクシーなど、既存の公共交通機関との関係等を検証し、合わせて、現在の能力を損なうことなく更に進化させ、効率的かつ有効な交通体系を策定していきます。(市当局)

文化・芸術の推進について

質問 小野市の芸術(協会等)の振興策についてのビジョンを問う。

答弁 文化・芸術は、豊かな生活を送る上で大変大きな役割を担っています。創作、制作、発表などの積極的なものと、それを楽しむ受動的なものがあります。

市民ニーズを的確に掴み①多彩な文化・芸術の鑑賞の機会②活動の成果発表の場の提供③歴史的な伝統文化を発展・継承するなど振興に努めます。活動を支援することが、市民力の発展に繋がっていきます。(教育長)



市民クラブ
山中修己議員

「人事管理制度」について

質問 市長は就任以来、「成果と報酬の連動」した人事制度を構築するといわれ実践されてきました。その状況について問う。

答弁 平成12年度から職員数の削減に加え、約40項目を超える人事制度改革に取り組んでまいりました。超過勤務手当の削減、地域手当の廃止、特殊勤務手当の見直しなどにより、約50億円の削減効果がありました。「成果と報酬の連動」については平成18年度から本格的に人事評価制度を導入し、能力評価と業績評価を行い、勤勉手当及び昇給等に反映させています。改革により、現在の職員数は市民100万人あたり0・570人で、人口10万人未満の市では県下最少となっています。一方、他の公共団体にあるような一律の給与カットは行わず、モチベーションを保ちながら、人件費総額の削減に努めて

います。職員の人材育成については、求められる職員像を、幅広い視野と高い専門性を備え、公平・公正・誠実に対応でき、市民の目線で考えられる職員と定め、資質向上に取り組んでいます。(市当局)

一律に給与カットするのではなく、要は少数精鋭で厳しくやる。将来的には「年俸制」も研究に値する。(市長)

神戸電鉄粟生線について

答弁 粟生線存続に向けては、「住民の意識改革」「神戸電鉄自らの経営改善」「近隣地域及び国・県の共同歩調」が重要であり、「神戸電鉄粟生線活性化協議会」や、沿線3市の若手職員による「神鉄サポータークラブ」の設置、小野駅前コインパーキングの設置など種々の対策に取り組んでいる。存続に対しては地域住民の強い意志と行動が最も重要と考えている。(市当局)

神戸電鉄粟生線を絶対廃止させないという決意で取り組む。(市長)



市長の所信表明について

質問 今後の健全財政維持のシミュレーションについて

答弁 目標として掲げております基金残高60億円以上、実質公債比率15%以下という数値は、後年において維持できる水準となっております。地方財政の将来見通しは予断を許さないが、長期的視野に立って健全財政の継続に努めます。(市当局)

質問 セレモニーホールの誘致について

答弁 セレモニーホールは、最も利便性の高い候補地を選定すべきであるとともに、新たな都市開発や更なる都市機能の向上を誘引する「地域活性化の起爆剤」として期待しています。市民の願いであるセレモニーホールの早期実現を図ってまいります。(市当局)

研政クラブ

松井精史 議員

質問 リーダーとしての心構えについて

答弁 市長という立場に立てば、市民やまちに対する愛着と責任を痛感し、未来を切り拓く勇氣に満ちあふれてきます。リーダーとして求められるのは、「洞察力、構想力、決断力」です。市民の声をよく聞き、皆で共感できる確固たる理念と明快な方針のもと、将来ビジョンと必要な政策をまとめ、大いにチャレンジし続けます。(市長)

地域活動の活性化について

質問 地域活動の拠点づくりについて

答弁 高齢者等の居場所づくりとなる地域コミュニティ活動を町・自治会が主体的に行うためには、拠点となる公民館などの施設を誰もが活用しやすい施設に充実する必要があると見ます。市は、支援策として「高齢者等地域活動拠点モデル事業」を創設し、町に対して1地区200万円(23年度10地区)を上限に助成しようと考えています。(市当局)



日本共産党

鈴木 元 議員

「TPP参加」による影響について

菅首相が「平成の開国」を掲げ、6月をめどに参加に向けた協議を表明した。その影響を小野市はどう捉えているのか質しました。

質問 TPP参加による日本農業への影響を農水省が試算している。その内容は驚くべきもので、①食糧自給率は、現在の40%が13%に急落。②米の生産量は、現在の90%減。③小麦・砂糖の生産は壊滅。④農業や関連産業で働く人の雇用は350万人減少するという凄まじいもの。全国の地方自治体でも影響を試算している。小野市はどうか。

答弁 具体的な試算はしていないが、市の農業産出額は、①畜産18億7千万円。②米15億9千万円。③野菜4億5千万円。合計40億4千万円。いろんな情報や推計値から約50%が損失額で、約20億円が影響額と考えている。(市当局)

質問 世界では、食糧を市場任せにする害悪が明らかになり、自国の食料の需給は自国で決める「食糧主権」を保障するルールの確立を求めている。市が広がり、国連でも決議がなされている。市の面積の4割が農地である「田園都市小野市」の長であり、近畿市長会々長という要職を務める蓬萊市長の考えを伺いたい。

答弁 国家的レベルで議論すべき問題。私はこれまでから、農業も国外へ農産物を輸出するなど、外に打って出る時代が来ると言ってきた。農業も変革の時代を迎えている。一方で将来、世界の食糧が不足・高騰し、飢餓人口が増えるという見方、食糧は自給が当然というヨーロッパ諸国の考え方、日本の自給率が異常だという指摘には同感だ。私も農家の生まれ、農業の大切さは知っている。農業は食糧だけでなく国民性・文化をつくってきた。しかし、農業も前向きに考えないといけない。(市長)



改革クラブ
藤井玉夫 議員

審議会等の会議の公開について

質問 小野市における審議会等の公開状況と今後の対応について

答弁 公正かつ円滑な議事運営に支障が生じる場合を除き、これまでから「公開できる」として対応している。今後は、市民への周知も含め、全庁的に統一した公開に関する指針を定めたい。
(市当局)

広域消防体制について

質問 北播3市1町の広域消防体制の動きに対する小野市の消防の広域化への対応について

答弁 28年度の消防無線デジタル化までに、5市1町の枠組みなどに参加していくことを含め、様々な選択肢のなか、市民の目線で今後も引き続き検討したい。
(市当局)

ホテル誘致について

質問 ホテル誘致の見通しについて

答弁 ルートインホテルでは、本市への延期の申し入れがあった当時に比べ、21店舗が新たに開業された。市の発展のために絶対に必要であり、交渉を重ねている。進出協定の締結に基づき、建設していただけるものと確信している。
(市当局)

ボランティア活動支援について

質問 市民の参画と協働の推進からボランティア活動保険の導入支援について

答弁 市民活動団体が必要としているのは、拠点、財源、人材等様々である。現在、市内の約150の市民活動団体に対し、アンケートを実施しています。その結果も見ながら、今後の支援のあり方を検討し、更なる市民活動の活性化に取り組みたい。
(市当局)



改革クラブ
井上日吉 議員

質問 今後のまちづくりについて

答弁 「意識改革なくして行動なし」。これからのまちづくりを進めていくには、「官と民」つまり市民と行政とが、それぞれの役割分担を再構築していくことが必要不可欠です。市民一人ひとりが、まちづくりの担い手として、自らの意識や行動を変革することで「人と人との絆」が深まり「市民力」「地域力」が高まります。この市民力・地域力を最大限に活かし、市民の皆さんと共に、新たなまちづくりをチャレンジしてまいります。
(市長)

質問 市道107号線の改修について(大部小学校前)

答弁 危険回避に向け早急に改修します。
(市当局)

質問 市道5026号線の景観整備について

答弁 法面は急勾配で、非常に作業が困難な状況と考えます。費用負担等について自治会と相談し、ご協力

いただければ、防草シートなどによる恒久的な処置を検討します。

質問 小学校・特別支援学校・幼稚園の人的警備について

答弁 16年度から学校に警備員1名を配置し、防犯対策に努めてきました。今後は、夜間も撮影可能な高感度の防犯カメラによる24時間体制の警備を導入します。併せて安全安心パトロールの学校への立ち寄り回数を増やすなどにより、児童生徒の安全確保に努めます。
(教育長)

質問 適応教室の教育環境の整備について

答弁 関係者の意見を十分取り入れながら施設整備を行い、学習環境の改善を図ります。
(教育長)

質問 セレモニーホールの建設について

答弁 誘致について今まで様々な検討を重ねてきた。「行政も経営」を第一に考えながら、民間のすべきこと、行政の果たすべき役割などを慎重に見極め、市民の期待にこたえていきます。
(市長)



議案質疑

清風クラブ

松本哲昇 議員

平成23年度一般会計予算について

質疑 高齢者等地域活動拠点づくりモデル事業20、000千円の具体的内容について

答弁 この事業は自治会館等を活用し、自治会が主体的に取り組む高齢者等の居場所づくりに対して市が支援し、地域の活性化を図るものです。ソフト面では上限20万円とし、カラオケセットや健康体操教室のマット購入など初期経費の1/2を助成、ハード面では地域コミュニティ活動拠点施設のバリアフリー化とそれに伴う付帯工事として上限180万円を助成、つまり、1自治会に200万円を上限に助成。モデル地区として10地区を予定しています。(市当局)

質疑 拠点づくりの活動支援は?

答弁 地域の方が主体的に楽しみを持って集える場作りとしての運営を目指しています。福祉面からの支援

例として、ふれあいいきいきサロンの拡充等々。また、介護予防などのサポーターが地域でキーパーソンになり、地域の実情に合った人材育成をしていただきたい。(市当局)

小野市水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

質疑 改正する条例の内容は?

答弁 上水道料金の減額改正です。

改正の要因は、県水受水単価の減額及び事業の収支見通しが明確になったことです。全体の改定率は平均で57%の減額となり、標準家庭で1ヶ月157円の減額となります。

質疑 今回は県水の受水単価の減額等により上水道料金を引き下げられるものですが、今後の料金改定の見通しは?

答弁 今後10年の投資事業を見込み、更に、県水受水費用の増減を含め5年間の明確な事業計画を立てています。5年を料金算定期間と捉えています。(市当局)



議案質疑

公明党

川名善三 議員

小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

質疑 改定に至る経緯について

答弁 国民健康保険事業にあっては、制度の構造的な課題を含め、医療費の伸びと税などの収入面において著しくバランスを欠く状態が続き、大半の自治体で大変厳しい事業運営に直面しています。近隣市では、各市ともここ数年の間に、3度の税額の引き上げを実施されてきたところですが、本市においては、可能な限りご加入者の負担軽減を図ることを第一に、国民健康保険事業基金の活用などにより、平成16年の税額改定以降、6年間、基礎課税分の引き上げを見合わせてきました。この間に、事業運営の適正化を図るため、様々な事項に鋭意、取り組んできました。医療費は年平均で5%程度上昇し続け、税収額は、経済不況の長期化や

失業、定年等による無就労者の加入などにより、大きく減少するなど、医療給付の伸びに対応できない収支状況が続いています。これらの対応として、平成21年度に国民健康保険事業基金のほぼ全額、2億288万円を取り崩し、医療支出に応じたところですが、本年度からは、基金からの繰り入れが事実上不可能になるなど、財源確保がより厳しいものになっています。国民健康保険事業の単年度実質収支でも、平成16年度以降、毎年2700万円から1億円程度の赤字が続いていることから、今後の事業運営の安定化を図るためには、被保険者の方々にも医療費の状況に応じた一定のご負担を頂かなければならない結果となった次第です。つきましては、平成23年4月より所得状況などに応じ、79%から135%程度の税額改定をお願いすることとし、改正条例を上程させて頂いております。上ではこの度の改定率ではなお厳しい状況が続くと試算しているところです。(市当局)

議会の取り組み

【小野市議会は新体制になりました】

平成23年5月から議員定数を2名削減し、16名の新体制となりました。

議員一人ひとりが資質を高め、市議会の活性化を図ることにより、機能的かつ効率的な議会運営を行い、これからも真に市民の負託に応えてまいります。

【常任委員会の体制が変わりました】

総務文教常任委員会と民生地域常任委員会の2常任委員会体制で、定例会で付託された議案を慎重に審査します。

常任委員会の名称、委員の定数及び所管事務は、次のとおりです。

「総務文教常任委員会」8人

1. 総合政策部の所管に属する事項
2. 総務部の所管に属する事項
3. 消防本部の所管に属する事項
4. 会計課の所管に属する事項
5. 固定資産評価審査委員会、選挙管理委員会、監査委員及び公平委員会の所管に属する事項
6. 教育委員会の所管に属する事項
7. 他の常任委員会の所管に属さない事項

「民生地域常任委員会」8人

1. 市民安全部の所管に属する事項
2. 市民福祉部の所管に属する事項
3. 市民病院の所管に属する事項
4. 地域振興部の所管に属する事項
5. 農業委員会の所管に属する事項
6. 水道部の所管に属する事項

常任委員会とは？

常任委員会は、地方自治法第109条の規定に基づき条例により設置されています。地方公共団体の幅広い事務を調査するため、本会議より付託された議案や陳情等の審査を行います。

平成22年度 政務調査費収支報告書

会派に対する政務調査費一人あたり年間24万円交付

(単位:円)

		※	※				※		
		新生クラブ 7名(1ヶ月)	研政クラブ 5名(11ヶ月)	改革クラブ 4名(11ヶ月)	市民クラブ 4名	公明党 2名	清風クラブ 2名	※ 明政クラブ 2名(1ヶ月)	日本共産党 1名
収入	支給額	1,680,000	1,100,000	880,000	960,000	480,000	480,000	480,000	240,000
支出	研究研修費		62,760	134,620	74,600		20,575		8,200
	調査旅費		399,457	405,252	485,441	165,118	342,733		4,380
	資料作成費			24,525			3,160		29,992
	資料購入費		11,420	4,900	85,400	26,250	10,420		10,309
	広報費	75,600	302,030		52,620	63,105	25,000		218,205
	広聴費								32,000
	計	75,600	775,667	569,297	698,061	254,473	401,888	0	303,086
差引額		1,604,400	324,333	310,703	261,939	225,527	78,112	480,000	-63,086

※新生クラブ・明政クラブは、4月で会派を解散し、5月から研政クラブ・改革クラブとなりました。

差引額がマイナスになった会派は、そのマイナス額を議員が個人負担しています。

差引額がある会派は、その額を市に返還しています。

《各常任委員会に付託された議案》

◎総務文教常任委員会◎

- 議案第17号 小野市の組織及びその事務分掌に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第18号 小野市学習等供用施設（コミュニティ供用施設）の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第19号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第20号 小野市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第29号 兵庫県市町村職員退職手当組合理約の変更について
- 議案第31号 小野市基本構想を定めることについて
- 議案第32号 市有財産の無償譲渡について
- 議案第33号 小野市学習等供用施設（コミュニティ供用施設）の管理に係る指定管理者の指定について

採決の結果、議案第17号から議案第20号、議案第29号、及び議案第31号から議案第33号は、全会一致で可決すべきと決まりました。



◎民生保健常任委員会◎

- 議案第21号 小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第22号 小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第23号 小野市敬老金支給条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第27号 小野市老人保健特別会計条例を廃止する条例の制定について
- 議案第28号 小野市立老人福祉センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について
- 議案第30号 播磨内陸医務事業組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について

採決の結果、議案第21号から議案第23号、議案第27号、議案第28号、及び議案第30号は、全会一致で可決すべきと決まりました。



常任委員会審査報告

3月定例会の提出議案審査付託について、3月22日に総務文教、民生保健、地域振興の各常任委員会を開催しました。
審査付託議案は、議案第17号から議案第33号及び請願第1号の計18議案であり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。
各常任委員会に付託された議案は、次のとおりです。

◎地域振興常任委員会◎

議案第24号 小野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第25号 小野市上水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

議案第26号 小野市下水道条例及び小野市農業集落等排水処理施設管理条例の一部を改正する条例の制定について

請願第1号 国道175号の管理は国の責任で行うことの意見書の提出を求める請願書

採決の結果、議案第24号から議案第26号は、全会一致で可決すべきと決まりました。請願第1号は、不採択すべきと決まりました。



委員会審査

議会の意思決定は、最終的には本会議で決められますが、効率的、専門的に審査するため、少数の議員で構成する委員会を設けています。委員会では、それぞれの案件を審査し、委員会としての結論を出し、本会議で報告します。

議 会 運 営 委 員 会 報 告

3月定例会（2月25日～3月24日）の議会運営について、2月18日に議会運営委員会を開催しました。

委員会では、3月定例会に市長から提出される議案の取り扱いについての審査や、予算特別委員会の設置、議会運営委員会までに提出された請願書の取扱いなど、28日間にわたる議会運営などについて協議を行いました。

また、3月22日には、定例会最終日に市長から提出される追加議案についても慎重に審査を行いました。



議会運営
委員会とは？

議会運営委員会は、地方自治法第109条の2の規定に基づき小野市議会委員会条例により設置され、その名称及び定数が定められております。委員会では、次に掲げる事項に関する調査を行い、議案、陳情等を審査します。

1. 定例会等の日程について
2. 議会運営に関する事項について
3. 委員会条例及び会議規則について
4. 議長の諮問に関する事項について

予算特別委員会意見

予算総額 385億円

平成23年度の小野市予算が、3月定例会に提出されました。これを受け議会は、全議員による予算特別委員会を設置して、3月14日、15日、18日に予算審査を実施。新年度予算が市政の運営にどう反映するのか、市政をどのように運営するのかなど、多くの意見が出されました。予算特別委員会が各部局へ要望した意見は下記のとおりです。

総合政策部

◎平成22年度の職員提案は、「政策提案・アイデア提案・観光戦略提案・神戸電鉄粟生線活性化提案」の各部門に、多くの職員が年間800件を超える斬新な発想の提案をされています。

提案をするには、大変な研究や

付託議案（8件）

議案第3号	平成23年度小野市一般会計予算
議案第4号	平成23年度小野市国民健康保険特別会計予算
議案第5号	平成23年度小野市介護保険特別会計予算
議案第6号	平成23年度小野市後期高齢者医療特別会計予算
議案第7号	平成23年度小野市都市開発事業会計予算
議案第8号	平成23年度小野市病院事業会計予算
議案第9号	平成23年度小野市水道事業会計予算
議案第10号	平成23年度小野市下水道事業会計予算

調査を有するものもあることから、表彰を受けた素晴らしい提案には、賞金の増額等も検討され、職員のモチベーションを更に高めるような充実した制度となるよう取り組まれない。

◎うるおい交流館エクラは、平成17年にオープンし6年が経過しようとしています。北播磨の市民活動の拠点として、また文化交流の場として、なお一層、多くの市民に親しまれる施設を目指すとともに、貸館による利用料金や自主事業のチケット等の増収を図るため、今後もし引き続き研究に務められたい。

総務部

◎市内の公的施設は勿論、公的行事などで多くの市民が集まる場に、AED（自動体外式除細動器）が配備され、日頃から安全安心に取り組みられています。

AEDによる素早い処置により、救命率も数倍となることから、市民のより身近な各町公民館にAEDの設置を検討されたい。

市民安全部

◎地球温暖化対策による自然環境の

大切さは、国民の関心が非常に高い課題であります。太陽光発電設置等助成事業の補助金は、1kwあたり3万5千円であるが、補助金の拡充も含めた、更なる制度の充実を図られたい。

◎平成14年に神戸電鉄小野駅に設置された、防犯カメラ3台をこの度更新されるが、耐用年数が短く思われる。技術革新も進み、機能・性能も良くなっているので、今後、新たに設置される防犯カメラは、性能も併せ長く使用できるものを検討されたい。

◎地球上の限りある資源を、有効かつ大切に使うということは、世界共通の課題であります。小野市においても、市民一人ひとりの意識改革に取り組み、なお一層、リサイクル事業の充実を図り、推進していくよう努められたい。

市民福祉部

◎社会経済情勢の悪化に伴い、依然として生活保護世帯は増加しています。この様な社会情勢の中で、生活保護の実施に当たっては、相談者の生活実態を十分精査し、被保護者の心の支援や就業支援を含

保護者の心の支援や就業支援を含

3年連続の「積極型予算」



重点項目

- ・安全安心に暮らせるまちづくりの推進
- ・子育て支援・教育環境の充実
- ・市民力による地域の活性化
- ・住環境向上のための都市基盤整備

め、様々な自立支援に向けた取り組みをこれからも継続されたい。

◎居宅介護サービスの24時間の訪問介護は、その家族にとって、とても安心を与える心の制度でもあります。引き続き医療機関との連携など、サービス提供体制の充実に務められたい。

市民病院

◎診療科別に、患者数や病床利用率など高い努力目標を設定され、事業収益の確保に向け全職員が一丸となって取り組まれています。

今後も引き続き、健全な病院経営に努められ、医師や看護師の人材確保にも鋭意努力されたい。

水道部

◎公共下水道整備事業の雨水整備については、雨水整備計画に基づき整備を進められています。今後の雨水整備については、近年のゲリラ豪雨のように集中豪雨の発生も考えられることから、市街地の実態をよく把握され、適切な整備に努められたい。

消防本部

◎東北地方の太平洋沖で発生した地震により、多くの国民を救助するため、自衛隊の災害派遣隊とは別に予備自衛官が招集され、被災に遭われた方々の救助をされています。小野市においても、万一に備え、消防OB等で構成する、予備消防隊員制度を検討されたい。

教育委員会

◎市街地にある小野中学校は、これまでから野球のボールが防球ネットを飛び越え、周辺の民家に大変迷惑をかけております。

この度実施されている、小野中学校運動場等整備事業の設計において、特に防球ネットには十分配慮をされ、周辺民家に迷惑をお掛けすることのないよう取り組まれます。

◎堀井城跡の今後の利活用については、例えば資料館の建設など、幅広い多様な意見や案を地域住民が出し合い、十分協議がなされるよう努められたい。

◎学校の安全対策として、非常に抑止力効果の高い、防犯カメラを設置されますが、学校によっては防

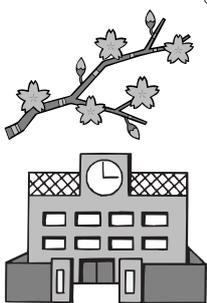
犯カメラの設置台数も違ってくると思われれます。子ども達の安全を守るという観点から、設置については、状況に応じた対応に努められるとともに、一方で、保護者等へのプライバシー保護の観点からも、一定のルール作りを検討されたい。

◎遠距離通学児童通学費助成事業については、小学生のバスやJRR利用者に対し、通学費の軽減補助を行うものであります。

義務教育の観点から負担軽減のため、助成については今後も引き続き検討されたい。

◎トライやる・ウィーク推進事業は、将来ある中学生が現場で汗を流し、働くことの喜びや社会での規律を守ることなど、多くの社会体験を学習することができる貴重な機会であります。

今後も更なる工夫と研究を重ね、なお一層充実したトライやる・ウィーク事業を推進されるよう努められたい。



◎ 議会の動き ◎

【2月】

- 3日～4日 全国市議会議長会基地協議会総会(東京)
- 7日 議員協議会
- 9日 全国市議会議長会評議員会(東京)
- 10日 北播政経懇話会
 - ♪ 福井県永平寺町行政視察受け入れ
- 14日 北播衛生事務組合議会(加東市)
 - ♪ 議員協議会
- 16日 北播肢体不自由児機能回復訓練施設事務組合議会(加東市)
 - ♪ 北播磨総合医療センター企業団総会(三木市)
- 17日 兵庫県市議会議長会総会(神戸市)
- 18日 議会運営委員会
 - ♪ 議会報編集委員会
- 19日 小野市スポーツ表彰式
- 22日 小野加東環境施設事務組合議会
 - ♪ 福祉総合支援センター安全祈願祭
- 25日 本会議(第1日)
 - ♪ 小野加東広域事務組合議会
- 28日 播磨内陸医務事業組合議会(加東市)

【3月】

- 2日 北播磨総合医療センター企業団議会(三木市)
- 3日 播磨看護専門学校卒業式(加東市)
- 9日 本会議(第2日)
- 10日 本会議(第3日)
- 11日 中学校卒業式
- 14日 予算特別委員会(第1日)
- 15日 予算特別委員会(第2日)
- 17日 幼稚園卒園式
 - ♪ 特別支援学校卒業式
- 18日 予算特別委員会(第3日)
- 22日 総務文教・民生保健・地域振興常任委員会
 - ♪ 議会運営委員会
 - ♪ 北播衛生事務組合議員協議会(加東市)
- 23日 小学校卒業式
- 24日 本会議(第4日)
 - ♪ 議員互助会役員会
- 25日 永寿企業並びに優良従業員表彰式
- 26日 小野中学校竣工式
- 27日 東条川親水公園竣工記念やすらぎの景観コンサート
- 28日 小野商工会議所通常議員総会
- 29日 北播磨総合医療センター造成工事安全祈願祭
- 30日 東播淡路市議会議長会監事会(高砂市)

【4月】

- 7日 中学校入学式
 - ♪ 特別支援学校入学式
- 8日 小学校入学式
- 10日 小野市消防大会
- 11日 幼稚園入園式
- 12日 近畿市議会議長会定期総会(堺市)
- 13日 東播淡路市議会議長会総会(南あわじ市)
- 14日 議会報編集委員会
- 16日 加東市制5周年記念式典(加東市)
- 25日 小野市連合区長会総会

傍聴お待ちしております

5月臨時会日程

5月11日(水) 10時～

6月定例会日程

5月31日(火) 10時～

6月20日(月) 10時～

6月21日(火) 10時～

6月27日(月) 13時30分～

本会議の6月20日と21日は、議員の質疑、一般質問があります。

議員からは、提出議案の質疑、市政全般にわたる一般質問を行い、これに対して市長、部長が答弁します。

託児コーナー 開設します



6月20日(月)・6月21日(火)

ご希望の方は、6月10日(金)までに議会事務局までお申し込みください。

ご利用ください傍聴者休憩室



がんばろう 日本

東日本大震災に義援金

小野市議会では、市から提案のあった小野市の災害見舞金5000万円の支援を、3月議会で速やかに可決するとともに、議員各自に義援金を募り、35万円を「東日本大震災兵庫県義援金募集委員会」を通じて被災地へ送りました。

被災地の1日も早い復興を、心からお祈りいたします。

自宅にしながら議会の傍聴

実施中!!



小野市のホームページからご覧いただけます。